

第5期シルバープランから

新たに導入する施策

第5期シルバープランは、「第3期から継続している地域包括ケアを重視した事業の集大成」と位置付け、在宅介護や介護予防を中心とした事業を継続することとしました。さらに、新たな事業として、高齢者の生きがいづくりや引きこもり防止対策としての「シルバーサロン」や、ひとり暮らしの高齢者の方が倒れた際、駆けつけた救急隊が本人の医療情報を速やかに確認できる「救急医療情報キット」の導入などにも取り組んでいきます。



第5期シルバープランの策定にあたっては、国が示した重点施策の検討だけでなく、できる限り市民の皆さんの意見を取り入れていこうと、高齢者を対象としたアンケートの実施や、地区別説明会の開催、パブリック・コメント手続を実施しました。

皆さんから寄せられた意見は、市民公募委員を含むシルバープラン推進等委員会で検討していただいた結果、在宅介護や介護予防につながる新たな施策として、シルバーサロンや救急医療情報キットなどの導入に取り組んでいくこととしました。



■「気軽に、無理なく、楽しく」参加 常設型のシルバーサロン

日ごろの会話や外出は、高齢者の生きがいづくりにはもちろん、ひとり暮らしや家の中で過ごしがちな方の引きこもり防止対策、認知症予防、介護予防に重要な役割があります。

平成23年3月に市で行った一般高齢者調査では、「一日、誰とも会話のない毎



市民の皆さんの意見を取り入れるため地区別説明会を開催

日を送っている」と答えた方が約3割いました。

また、日中一人になることが「よくある」「たまにある」の回答を合計すると、約7割を超える方が、日中一人きりになる状況があるという結果になりました。

仕事などで地元密着の生活を送ってこなかった方には、地域でのふれあい活動に一人で参加するのはハードルが高いと感じている人もいます。

そこで市では、認知症や閉じこもりの予防を目的に、地域の高齢者の方々が気軽に集い、お茶を飲みながらのおしゃべりや情報交換など、「気軽に、無理なく、楽しく」同世代の仲間や相談相手を作れる場所として、シルバーサロンを開設していきます。